



平成24年7月31日

各位

タツタ電線株式会社
 (代表者名) 取締役社長 木村 政信
 (コード番号5809 東証・大証第1部)
 (問合せ先) 常務取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎
 TEL (06) 6721-3011 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

1. 最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の連結業績予想について下記の通り修正いたします。

(1) 第2四半期累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
当初発表予想(A) (平成24年5月11日発表)	20,900	1,300	1,350	850	13円32銭
今回発表予想(B)	21,600	1,800	1,850	1,150	18円03銭
増減額(B-A)	700	500	500	300	—
増減率(%)	3.3	38.5	37.0	35.3	—
(ご参考) 前期実績	22,882	1,094	1,100	963	15円11銭

(2) 通期累計期間(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
当初発表予想(A) (平成24年5月11日発表)	41,900	2,500	2,550	1,400	21円95銭
今回発表予想(B)	42,300	3,400	3,450	1,950	30円57銭
増減額(B-A)	400	900	900	550	—
増減率(%)	1.0	36.0	35.3	39.3	—
(ご参考) 前期実績	45,809	3,346	3,347	1,877	29円43銭

修正の理由

(1)第2四半期累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

売上高は、電線・ケーブル部門については銅価の下落により減収が見込まれますが、スマートフォン向けを主とする導電機能性材料需要の伸張による電子材料売上の増加により、当初予想値を上回る見込みであります。営業利益、経常利益、四半期純利益については、電線・ケーブル部門収支は販売マージンの低迷により厳しい状況が続いていますが、電子材料部門の増収により当初予想値を上回る見込みであります。

(2) 通期累計期間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

売上高は、下期についても銅価の下落による電線・ケーブル部門の減収が見込まれることに対し、導電機能性材料を中心とする電子材料需要の好調により当初予想値を上回る見込みであり、年間においても当初予想値を上回る見通しであります。

営業利益、経常利益、当期純利益についても電子材料部門を中心とする増収により下期、年間ともに当初予想値を上回る見込みであります。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上